

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 26 日(2024.7.26)

【公開番号】特開 2022-148674(P2022-148674A)
【公開日】令和 4 年 10 月 6 日(2022.10.6)
【年通号数】公開公報(特許)2022-184
【出願番号】特願 2021-50441(P2021-50441)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 18 日(2024.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、可変表示が特定表示結果で表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、

複数の発光手段と、

前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、

非特別状態と該非特別状態よりも有利な特別状態とに制御可能な状態制御手段と、を備え

30

、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、

前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御される旨が報知される第 1 エピローグパートとを含んで構成され、

前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御されない旨が報知される第 2 エピローグパートとを含んで構成され、

40

前記発光制御手段は、

前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出における導入パートおよび前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出における導入パートのいずれにおいても共通の導入パートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出における第 1 エピローグパートにおいて、第 1 エピローグパートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出における第 2 エピローグパートにおいて、第 2 エピローグパートに対応する輝度データテーブルを用い

50

て前記発光手段を制御し、

第 1 エピローグパートに対応する輝度データテーブルにおいて 1 の輝度データが用いられ
てから次の輝度データに切り替わる平均時間は、第 2 エピローグパートに対応する輝度デ
ータテーブルにおいて 1 の輝度データが用いられてから次の輝度データに切り替わる平均
時間よりも短く設定され、

第 2 エピローグパートに対応する輝度データテーブルにおいて最初に用いられる輝度デ
ータと、共通の導入パートに対応する輝度データテーブルにおいて最後に用いられる輝度デ
ータとは、異なる輝度データであり、

導入パートにおいて、キャラクタが発するセリフ音と、キャラクタの動作に対応する動作
音とが出力される特定シーンがあり、

特定シーンにおいて、キャラクタが発するセリフ音に対応する字幕表示を行い、キャラク
タの動作に対応する動作音に対応する字幕表示を行わず、

前記状態制御手段は、前記特別状態として、前記特定表示結果が表示されない可変表示が
特定回数実行されたことにもとづく特定条件が成立したときに特定特別状態に制御可能で
あり、

前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記発光手段の態様を特別発光態様と
することが可能であり、

前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記表示手段の態様を特別表示態様と
することが可能であり、

前記非特別状態における前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記発光手段
の態様が特別発光態様となる場合における前記表示手段の特別表示態様と、前記特定特別
状態における前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記発光手段の態様が特
別発光態様となる場合における前記表示手段の特別表示態様とは異なる、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、可変表示が開始されてから終了するまでにおける複数のパート（たとえば、導入パ
ート、当否決定パート、エピローグパートなど）を設け、遊技者の興趣を高める遊技機が
知られている（特許文献 1）。また、大当り図柄のうち、非確変図柄（通常大当り図柄）
で仮停止した後に大当り図柄が再変動し、その後に非確変図柄または確変図柄が停止する
ような再抽選演出を実行する遊技機が知られている（特許文献 2）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 9 - 1 1 8 4 1 1 号公報

【特許文献 2】特開 2 0 1 6 - 1 7 9 3 8 9 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

（ 1 ） 可変表示を行い、可変表示が特定表示結果で表示されたときに遊技者にとって有
利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、
非特別状態と該非特別状態よりも有利な特別状態とに制御可能な状態制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、
前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御される旨が報知される第1エピソードパートとを含んで構成され、
前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御されない旨が報知される第2エピソードパートとを含んで構成され、
前記発光制御手段は、
前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出における導入パートおよび前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出における導入パートのいずれにおいても共通の導入パートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出における第1エピソードパートにおいて、第1エピソードパートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出における第2エピソードパートにおいて、第2エピソードパートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
第1エピソードパートに対応する輝度データテーブルにおいて1の輝度データが用いられてから次の輝度データに切り替わる平均時間は、第2エピソードパートに対応する輝度データテーブルにおいて1の輝度データが用いられてから次の輝度データに切り替わる平均時間よりも短く設定され、
第2エピソードパートに対応する輝度データテーブルにおいて最初に用いられる輝度データと、共通の導入パートに対応する輝度データテーブルにおいて最後に用いられる輝度データとは、異なる輝度データであり、
導入パートにおいて、キャラクタが発するセリフ音と、キャラクタの動作に対応する動作音とが出力される特定シーンがあり、
特定シーンにおいて、キャラクタが発するセリフ音に対応する字幕表示を行い、キャラクタの動作に対応する動作音に対応する字幕表示を行わず、
前記状態制御手段は、前記特別状態として、前記特定表示結果が表示されない可変表示が特定回数実行されたことにもとづく特定条件が成立したときに特定特別状態に制御可能であり、
前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記発光手段の態様を特別発光態様とすることが可能であり、
前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記表示手段の態様を特別表示態様とすることが可能であり、
前記非特別状態における前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記発光手段の態様が特別発光態様となる場合における前記表示手段の特別表示態様と、前記特定特別状態における前記特定表示結果が表示される可変表示の実行中に前記発光手段の態様が特別発光態様となる場合における前記表示手段の特別表示態様とは異なる、
ことを特徴とする。
このような構成によれば、遊技機における商品性を高めることができる。

10

20

30

40

50